

2021年度 事業報告

2022年3月31日現在

公益財団法人 佐倉国際交流基金

2021年度 事業報告書

公益財団法人 佐倉国際交流基金

事業の実施状況

1. 国際相互理解推進事業〔公益目的事業 1〕

1) 公開講座（佐倉市と共催）を2回開催

公開講座1 「ポストコロナ時代の産業政策の論点」

東京大学公共政策大学院 院長 教授 大橋 弘

日 時：6月12日（土）13時30分～15時30分

来場者はスタッフを含めて141名

公開講座2 「中国とどう向き合うか 中国の国家戦略を解き明かす」

平安女学院大学 客員教授 加藤 千洋

日 時：9月11日（土）13時30分～15時30分

来場者はスタッフを含めて260名

時宜を得たテーマであり、好評であった。

2) 佐倉市国際文化大学

受講生募集は計画に沿って4月に行い、5月開校、22回講座（うち2回は上記公開講座）を実施。

市施設の利用基準を厳正に守り、安全対策を徹底し、11月27日の修了式を無事に迎えることができた。

講座日程と内容

講義日 時間	講義内容	講 師	予定教室等
5月16日(日)	開 講 式 (講座)世界のバリューチェーンが変	早稲田大学政治経済学術院 教授 戸堂 康之	中央公民館
5月23日(日)	海洋国際ルール、シーパワーと日本の対応	獨協大学外国語学部 教授 竹田 いさみ	中央公民館
5月29日(土)	災害大国は防災大国になれる	NP0 法人プラス・アーツ 理事長 永田 宏和	中央公民館
6月6日(日)	中国人 身近な隣人から己を知る ～「周作人研究」を通じて～	早稲田大学商学学術院 教授 小川 利康	中央公民館
6月12日(土) (公開講座)	ポストコロナ時代の産業政策の論点	東京大学公共政策大学院 院長 教授 大橋 弘	市民音楽ホール
6月19日(土)	生産性とイノベーションの創発 ～無形資産投資と産業集中度に着目して～	学習院大学経済学部 教授 滝澤 美帆	中央公民館
6月27日(日)	東アジアの戦略性、日本の針路と役割	慶応義塾大学総合政策学部 教授 神保 謙	中央公民館
7月4日(日)	社会的包摂、「移民」で日本は変わる	慶応義塾大学法学部 教授 田所 昌幸	中央公民館
7月11日(日)	コロナ禍で知る人間と環境のかかわり	亀田医療大学 准教授 榎本 輝樹	中央公民館
7月17日(土)	米国とイランの対立は如何なる	一橋大学大学院社会学研究科 教授 福富 満久	中央公民館

7月25日(日)	経済開発と政治的条件	アジア経済研究所地域研究センター 上席主任調査研究員 川中 豪	中央公民館
7月31日(土)	ポピュリズムは民主主義の敵か、自己革新の導火線か	千葉大学法政経学部 教授 水島 治郎	中央公民館
9月5日(日)	エネルギーミックス、自然エネルギーの主力電源化	(公財)自然エネルギー財団 上級研究員 木村 啓二	中央公民館
9月11日(土) (公開講座)	中国とどう向き合うか、中国の国家戦略を解き明かす	ジャーナリスト平安女学院大学客員教授 元朝日新聞編集委員 加藤 千洋	市民音楽ホール
9月18日(土)	日中韓台貿易の相互依存とリスク	(一財)国際貿易投資研究所 研究主幹 大木 博巳	中央公民館
9月26日(日)	財政大借金時代の金融政策～異次元緩和からポストコロナの「新常态」へ～	専修大学経済学部 教授 田中 隆之	中央公民館
10月3日(日)	最近のASEANの動向	国際機関日本アセアンセンター 貿易投資クラスター事業統括長 代理 兼クラスター長 石田 靖	中央公民館
10月10日(日)	成長加速と格差の南アフリカ	アジア経済研究所地域研究センター アフリカ研究グループ長 牧野久美子	中央公民館
10月23日(土)	ウォーキングと脳の活性化	NPO法人ニッポンランナーズ 理事長 齊藤 太郎	志津コミセン
11月6日(土)	こんなこと知っていると、ジャズがもっと楽しくなる	ジャズミュージシャン 佐藤 洋祐	志津コミセン
11月13日(土)	ゼミ自由研究発表会	ゼミ研究グループ	志津コミセン
11月27日(土)	(講座)株主第一主義と公益(ステークホルダー)資本主義	東京大学社会科学研究所 教授 田中 亘	志津コミセン

3) 佐倉国際スピーチコンテスト (佐倉市と共催・佐倉市教育委員会後援)

小中学生に対するコロナ予防を最優先に考え、人数を制限、時間短縮の上
10月24日(日)に開催した。

開始は9時、終了は12時半、前半を小学生、後半を中学生の時間にあて
発表者はマスク着用のうえ、実施した(小学生10名 中学生12名)。

2022年度はスピーチへの出場希望者拡大のため、従来方法に加え幼稚園か
ら成人までを参加可能とする。コンテスト日時は10月23日(日)に決定。

4) イングリッシュサロン

ファシリテーター(進行役外国人)2名により、火曜日、金曜日に開催。
コロナ対策を徹底し、当初計画通り5月より開始。金曜日、火曜日のクラス
の定員はいずれも11名。参加者は合計88名であった。

2022年度は同一教場確保の観点から、水曜日5クラス 50名、金曜日3クラス 30名の編成とする。2021年度とは、曜日とクラス数に変更がある。

2. 国際交流活動支援事業[応募申請型]〔公益目的事業 2〕

国際交流親善・多文化共生の啓発に寄与すると判断される団体・グループ等の活動支援[当基金の助成金交付内規による助成金支援]である。

2021年度の助成金応募団体の活動は低調で以下の1件のみであった。

団体名	事業名	申請金額	支給金額
佐倉中文会	中国語の学習および中国との交流活動	7,000	7,000
	合 計	7,000	7,000

(助成金合計 7,000 円)

3. 外国人支援事業（佐倉市国際化推進事業受託）〔公益目的事業 3〕

1) 外国人のための日本語講座

原則として佐倉市内に住む外国人に対して、日本語の日常会話力（入門・初級・中級）の涵養、及び日本人とコミュニケーションする場の提供、そして外国人の児童・生徒のための日本語学習を行う。

本年はコロナとは言え対策を講じて、4月より授業を開始した。昨年開講の小中学生向けの新しいクラス（AIUE さくら志津 毎週水曜日）は順調にすすみ、2022年度に向けて根郷地区への開講準備を進めた。

9月の緊急事態宣言発令時は、対面学習を休止、代替として、郵便学習、WEB学習などで対処した。

11月28日(日)に予定していた「日本語講座のつどい」は昨年同様中止にそれに代わるものとして学習者の作文、クラス活動の様子を取り込み、文集を作成した。

44名の作品が集まり3月後半、文集完成。寄稿者等への配布を開始。

開講クラス

- ・毎週木曜日（午前・午後 合計3クラス）

*但し、ベビーシッターはコロナ予防のために中止

会場：志津コミュニティセンター

- ・毎週金曜日（夜間 1クラス）
会場：ミレニアムセンター佐倉
- ・隔週土曜日（午前 1クラス）
会場：ミレニアムセンター佐倉
- ・毎週日曜日（午前 合計4クラス）
会場：中央公民館

小中学生対象クラス

- ・毎週水曜日（午後 合計1クラス）
会場：志津公民館
- ・毎週土曜日（午前 合計1クラス）
会場：千代田・染井野ふれあいセンター

(2) 対面学習状況（カッコ内は2020年度の実績）

受講者 年間合計1421名(822名)
 出身国 中国, フィリピン, ベトナム, ネパール,
 アフガニスタン, モンゴル, ペルーなど
 日本語ボランティア講師 年間のべ数 822名(411名)

(3) 非対面学習状況

非対面学習は緊急事態宣言の9月及び、2022年1～3月の蔓延防止期間、LINE活用、プリント添削など、クラスや学習者の状況に合わせての対応であった（1対1対応型クラスが主に実施）。延べ学習者は29名。

2) 外国人のための生活相談

英語、スペイン語、中国語の相談員、合計5名と交流基金事務局員3名により、電話及び面接による相談を受けるとともに、学校や病院での通訳、あるいは子育て支援、文書の翻訳などの外国人支援活動を実施している。
 相談のみならず、佐倉市担当部課と協力して外国人への直接支援活動も行っている。

相談員交流会議を毎月実施、予定通り4月より開始した。

- ① 活動報告
- ② 佐倉市のおしらせ記事選択、編集、発行
- ③ 生活相談員のための講習、学習会

相談・支援件数：57件

内容別件数：日本語（24）、医療・保健（22）、日常生活（1）、子供（4）、
 住居（3）、法律（1）、その他（2）

言語別件数：日本語（25）、スペイン語（7）、英語（23）、中国語（2）

（注）1 案件に複数の相談内容があるので、件数に差異がある。

主な生活相談・支援 （支援した外国人の国名）

- 4月 日本語学習問い合わせ(中国2、アフガニスタン2、その他3)
定期検診時の通訳(UAE3)
小学校と保護者間の通訳(UAE1)
公営住宅の申し込み(フィリピン1)
- 5月 定期検診時の通訳(UAE3)
病院受診時通訳(ペルー3)
日本語学習の相談(ロシア、ペルー各1)
公営住宅などの質問(フィリピン1)
- 6月 定期検診時の通訳(UAE3)
病院受診時通訳(ペルー1)
日本語学習の相談(日本1)
- 7月 定期検診時の英語通訳希望(UAE2)
婚姻届を提出するため、大使館発行の書類を和訳してほしい(フィリピン)
- 8月 就労証明書の英訳依頼(スリランカ)
収入証明書の英訳依頼(スリランカ)
- 9月 健康診断受診時の通訳(アメリカ)
日本語学習の相談(中国)
日本語学習の相談(アフガニスタン2)
- 10月 病院受診時通訳(アフガニスタン)
アパートを探したい(未確認)
日本語検定N2を受験したいので、日本語講座を受講したい(イラン)
日本語学習の相談(韓国)
日本語再学習の相談(フィリピン)
- 11月 病院受診時通訳(アフガニスタン2)
国民年金減免手続き(ボリビア)
日本語学習の相談(中国2、アフガニスタン1、イラン1)
- 12月 療育手帳取得のための保護者面談通訳(ボリビア)
日本語学習の相談(国籍未確認)
保育園入園手続き・健康診断の通訳(中国)
病院受診時の電話通訳(中国)
- 1月 日本語学習の希望(中国1、アフガニスタン1)
- 2月 配偶者介護のため来日する場合、コロナ隔離期間などの問い合わせ(アメリカ)
日本語学習の希望(アフガニスタン)
- 3月 幼稚園入園時の通訳業務(カメルーン)

上記、生活相談に加え、情報発信を強化するために「こうほう佐倉」を情報ベースに、「佐倉市のおしらせ」を1回/月のペースで発刊することにした。

これは、やさしい日本語を用い、外国人にもわかりやすい内容となっている。

2021年度より広報課から各公民館などにも配布されることとなった。

4. その他

1) 機関誌の発行

基金レターズを発行（7、12月）、事業の実施状況、賛助会員、ボランティアの活動などについて紹介した。

2021年7月発行

主な記事

2021年度スピーチコンテスト開催にむけて

佐倉市国際文化大学公開講座の案内

外国人のための日本語講座、生活相談

佐倉国際交流基金助成金について

国立歴史民俗博物館、DIC川村記念美術館の催し物紹介

2020年度事業報告・収支報告

2021年12月発行

主な記事

日本語学習の成果を形に残そう

イングリッシュサロンで知的交流

文化大学公開講座報告

佐倉国際スピーチコンテスト報告

外国人のための生活相談

国立歴史民俗博物館、DIC川村記念美術館の催し物紹介

2) ホームページの活用

基金ホームページを使って当基金の事業概要・行事・その他財務状況などを掲載し公告の一助とした。

ホームページアドレス：<http://www.sief.jp>

以上

<参考資料>

1. 賛助会員数

個人	198
団体	7
法人	11
学生	0
外国人	2

2. ボランティアバンク登録者

直近3年間 言語ボランティア登録者

年度	2019	2020	2021	合計
日本語	13	9	8	30
英語	7	2	7	16
スペイン		1	1	2
ポルトガル				
中国	2		1	3
フランス				0
インドネシア	1			1
ロシア			1	1
タイ				
スウェーデン				
ドイツ		1		1
韓国		1		1
タガログ				
イタリア				
スリランカ				
他	1			1
計	24	14	18	56

直近3年間 業種ボランティア登録者

年度	2019	2020	2021	合計
ホームステイ ビジット	1	1		2
イベント手伝い	8	4	6	18
ベビ-シッター-	1		1	2
車	1		1	2
その他	1		3	4
計	12	5	11	28

(注) 1案件に複数の登録内容がある場合、合計と案件数は一致しないことがあります。

3. 役員、評議員に関する事項

役員（理事・監事）（2022年3月31日現在・敬称略）

役員名	氏名
理事長	宍倉 昌男
副理事長	熊谷 隆夫
常務理事	安藤 忠男
理事	下條 義昭
理事	鈴木 博
理事	今村 公蔵
理事	高橋 満
理事	橋 正明
理事	山岡 みち代
監事	石渡 孝
監事	松井 駿介

評議員

(2022年3月31日現在・敬称略)

	氏名
評議員	岡村 美智子
評議員	西谷 大
評議員	佐久間 文麗
評議員	角田 和弘
評議員	長谷川 稔
評議員	藤崎 言行
評議員	堀川 義勝
評議員	山田 朝子
評議員	長岡 義幸

任期：理事、監事、評議員いずれも2023年の評議員会まで

役員会等

第1回通常理事会 5月14日

- ・第1号議案 2020年度事業報告について
- ・第2号議案 2020年度決算報告について
監事より監査結果の報告
- ・第3号議案 2021年度助成金交付について
- ・第4号議案 2021年度評議員会開催について

定時評議員会 6月11日

- ・第1号議案 2020年度事業報告について
- ・第2号議案 2020年度決算報告について
監事より監査結果の報告
- ・第3号議案 理事の選任について

臨時理事会 6月11日

- ・第1号議案 代表理事の選定について
- ・第2号議案 業務執行理事の選定について

第1回三役会 4月16日

1. 2020年度事業報告について
2. 2020年度決算報告について

第2回三役会 7月2日

1. 第一四半期事業報告
2. 議事録署名人について
3. 公益法人における収益事業とは

第3回三役会 9月9日

1. 8月までの事業進捗
2. 公益法人における収益事業の考え方
3. 規定の整備(弔事規定)
4. イングリッシュサロンの教場確保について

第4回三役会 11月16日

1. 2022年度の事業計画概要
2. 評議員選定委員会規約(書面決議の項追加)
3. 休眠国債口座の解約
4. 千葉公安調査事務所からの問い合わせについて

第5回三役会 2月16日

1. 21年度事業報告、決算などについて
2. 22年度事業計画、予算などについて

4. 契約に関する事項

契約締結年月日	相手方	締結の内容	契約金額
2021年4月1日	佐倉市	佐倉市国際化推進事業	2,251,000円

5. 寄付金、協賛金等

寄付金ご協力者 (敬称略)

氏名	金額	受領日
岡村 美智子	10,000円	2021年6月18日
森本 功	30,000円	2021年6月18日
下條 義昭	16,200円	2021年12月7日
佐倉ライオンズクラブ	50,000円	2021年12月8日

寄付金は「事業共通」の収益とした。

協賛金ご協力者 (敬称略)

氏 名	金 額	協賛いただいた事業
佐倉ライオンズクラブ	20,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト
佐倉ロータリークラブ	10,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト
DIC 川村記念美術館	10,000 円	佐倉国際スピーチコンテスト

協賛金は「佐倉国際スピーチコンテスト」の収益とした。

6. 公益法人としての諸手続き

- 2021年6月24日 公益法人定期提出書類
2020年度事業報告、決算などの電子申請
- 2022年3月25日 公益法人定期提出書類
2022年度事業計画、予算などの電子申請

以上